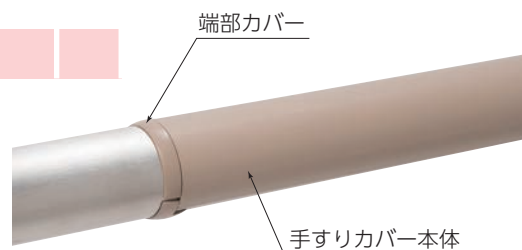


手すり径対応表

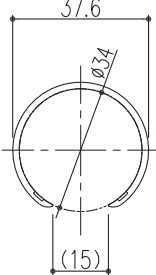
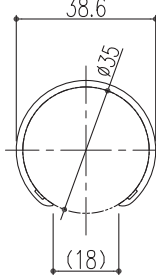
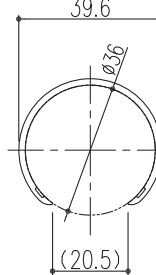
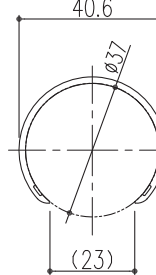
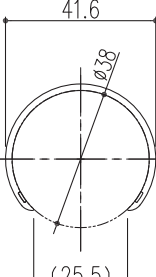
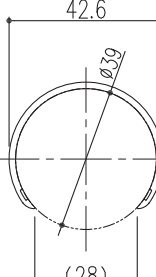
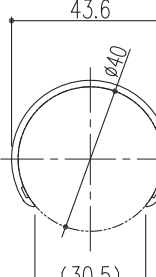
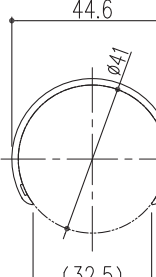
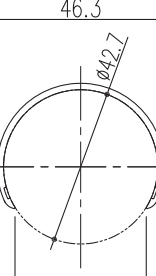
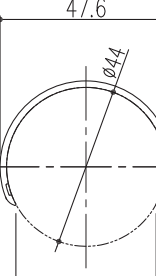
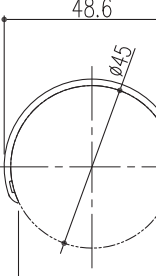
※TD-42 は抗ウイルス対応ではありません。

製品名	手すり径 (φ)													
	34	35	36	37	38	39	40	41	42.7	44	45	46	47	48.6
TJ-34	●													
TJ-38					●									
TJ-40							●							
TJ-42									●					
TD-42										●				

●印は端部カバーあり
TJ-34、TJ-38、TJ-40 の手すりカバー本体は共通です。



TJ-34・TJ-38・TJ-40 対応の手すり径

φ34	φ35	φ36	φ37
●端部カバーあり 			
φ38	φ39	φ40	φ41
●端部カバーあり 		●端部カバーあり 	
φ42.7	φ44	φ45	
			

TJ-42、TD-42 対応の手すり径

[]内の数字はTD-42を示す。

φ40	φ41	φ42.7	φ44
		<p>●端部カバーあり</p>	
φ45	φ46	φ47	φ48.6

※手すりカバー下部の寸法は参考値です。

※既存手すりの表面状態によっては、対応表に関わらず取り付け不可となる場合があります。

取付不可な状態

- ・手すり表面が柔らかい。
- ・手すり表面に凹凸がある。
- ・手すり表面がささくれ状になっている、または傷がある。

カバー取付け時に、抵抗や引っ掛かりとなり、取り付けが困難なため対応不可となります。

手すりカバー接着強度

【判定】 ○：ズレ無し
×：ズレ有り

手すりの材質	軸方向荷重	回転方向荷重
ステンレス (ヘアライン仕上げ)	○	○
樹脂被膜 (塩化ビニル樹脂)	○	○
木 (表面ウレタン塗装)	○	○
スチール (表面ウレタン塗装)	○	○

【接着剤】 ボンドウルトラ多用途SU コニシ株式会社

【試験方法】 手すりカバー (L=300mm) を各材質の手すりに接着し、軸方向及び回転方向へそれぞれ荷重を加え、手すりカバーと手すりの間でズレが生じるかを確認。

※端部カバーが無いタイプは、手すりカバー本体の切断小口の仕上処理が特に重要となります。

手が触れる部分となりますので、バリ等が無くなるまでしっかり処理してから施工してください。

※手すりカバー接着強度試験の結果は、実際の接着強度を確約するものではありません。笠木表面の状態に影響されますので、目安としてください。